

## 研究成果報告書 (掲載期間 2019.11.1－2020.10.31)

### 審査学術論文

- (1) 山内昇：Speaking of 構文の成立過程に関する考察：構文化の観点から，JELS, 37, 2020, pp.145-151.
- (2) 山内昇・新實葉子：話題転換マーカに関する日英語対照研究：speaking of which と「そういえば」の対応関係を例に，日本語用論学会第 22 回大会発表論文集, 15, 2020, pp.153-160.

### 学会発表

- (1) 山内昇：Speaking of 構文の成立過程に関する考察：構文化の観点から，日本英語学会，日本英語学会第 37 回大会，2019 年 11 月，大阪.
- (2) 山内昇・新實葉子：話題転換マーカに関する日英対照研究：speaking of which と「そういえば」の対応関係を例に，日本語用論学会，日本語用論学会第 22 回大会，2019 年 11 月，京都.